

施策4 回遊しやすいまちづくり

高齢者も子どもも、障害を持つ人も持たない人も、すべての人が安全で安心して、まち歩きができるよう「回遊しやすいまちづくり」を進めます。



《継続・充実するプログラム》

アクションプログラム		取組の方向性 (27年度～36年度)	これまでの取組状況
1	建物や道路など施設のバリアフリー化やユニバーサルデザイン（※用語説明参照）による整備	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都福祉のまちづくり条例による整備 ・目黒区立施設福祉環境整備要綱による整備 ・自由が丘駅周辺地区の整備 ・目黒区交通バリアフリー推進基本構想の改定 ・区有施設の改修・工事 ・歩道のバリアフリー化推進（歩道の改良） ・学芸大学駅周辺地区整備の推進 など
2	街かどのサインや「休み処」の整備	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・案内板設置 ・目黒区大規模建築に係る住環境の整備に関する条例による公開広場・歩道状空地の整備 など
3	自転車走行環境の整備	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車ナビマークのモデル設置 など
4	地域安全活動	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・生活安全パトロール など
5	人が多く集まる観光地やイベントでの安全対策とマナー啓発の推進	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・目黒川桜まつり等運営協議会の運営 など

《検討等を進めるプログラム》

アクションプログラム		取組の方向性 (27年度～36年度)
1	標識や案内サインの多言語化とピクトグラム化 (※用語説明参照) (再掲 P. 32)	検討
2	観光資源周辺の駐車場・バス停車場・駐輪場の整備の推進とユニバーサル化の推進 (再掲 P. 32)	検討
3	自転車などの回遊手段の整備 (再掲 P. 32)	検討
4	区内のミュージアムなどの案内表示	検討
5	区内の坂道・道路に消費カロリーや距離を表示	検討
6	民間企業を活用した親しみやすいカフェなどの設置	検討
7	近隣区との連携を図り、区境や水辺の観光化の推進を検討	検討

